

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム いこい
日付	平成19年3月2日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>スタッフの連携がよくとれているため、施設全体に活気があり、職員、入居者の笑顔が印象的でした。顔馴染みの職員が多いため、入居者は自宅にいるかのように過ごしています。介護計画を家族と話し合う際には、要望が出にくいようなので職員からそれぞれの入居者に見合った介護の方針をいくつか提案し、選んでもらっています。また介護記録は、1ヶ月ごとの状態が一目で分かるように工夫され、問題点が分かりやすくなっています。</p> <p>職員から積極的に入居者に声を掛け、今の状態を維持できるよう、無理のない程度の作業や生活が出来るよう工夫し、実行しています。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>特になし。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述式で回答)		
記述回答	<p>「入居者の方と共に過ごすこと、向き合うこと、自発的な行動を待つこと、日常の些細なことを見逃さず気づくこと。」これらの事から得た情報を元に、入居者が自然に過ごせるように援助して行けるように心がけています。</p> <p>生きていくための行動として、出来るだけ自分で動いてもらい、体力の維持に努めてもらうようにしています。常に介護の方法を職員全員で検討しています。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>(記述式で回答)</p> <p>食事をするとき、入居者のレベルに合わせてテーブルを分けています。食べるスピードが同じくらいの入居者が集まるので落ち着いて食べています。</p> <p>入居前に薬を服用している入居者が多く、医師と相談して薬の数を減らして行くことと徐々に落ち着きを取り戻すようです。また、機嫌が悪い時は、入居者の言うことをよく聞いたり何度も一緒に外に出たりしています。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライトを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>(記述式で回答)</p> <p>入居者の職歴・経験能力を把握してその能力と意思が活かされるように支援しています。料理の手伝い、洗濯物の片付け、居室の掃除など、出来る事は入居者にしてもらいます。営業用のマシンで布巾や雑巾を作ってくれる人もいます。</p> <p>居室からの出入りが激しい入居者は扉にのれんを掛けて部屋の中が見にくいように配慮されています。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>日常生活をするうえで行動出来るだけ自分で行ってほしい。身体機能の低下を抑えるようにしています。特にトイレは、誘導してでも所定の場所ですべて、自覚のある日々を送ってもらうように心がけています。</p> <p>全体のレベルアップを図るために、職員には外部の研修へ積極的に参加してもらい、ミーティングの時に話をしています。</p> <p>入居者には日頃からサブプリメント(カルシウム等)を摂取してもらっています。</p> <p>入居したばかりの方への介助方法を探るため職員全員で観察し、話し合いをして対応をしています。</p>		